

第4節 蔵の街課

〔総括概要〕

蔵の街課の主な分掌事務は、蔵の街推進業務及び伝統的建造物群保存地区関係業務である。

蔵の街推進業務では、蔵の街の活性化を図るためのワークショップを実施し、蔵の街の現状と課題の整理を行うとともに、解決策の提案を行った。

街なかの活性化を図るために、歌麿を中心とした文化のまちづくりに取り組んでいる団体等で組織した「歌麿を活かしたまちづくり協議会」と協働で、歌麿と栃木の関わりをより多くの方々に知っていただくため、歌麿まつりの開催や各種事業を実施した。

歴史まちづくりとしては、栃木固有の歴史的文化や風情、たたずまいを維持し、さらに向上させるため、「栃木市歴史的風致維持向上計画」の策定に取り組んだ。また、歴史まちづくりに関して市民の意識啓発を図るために、講演会を開催した。

伝統的建造物群保存地区関係業務では、蔵を中心とした特色ある歴史的町並みを、良好な状態で次世代に引き継いでいくとともに、地区の個性を活かした持続可能な環境を造るため、文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区に関する事業を行った。

嘉右衛門町重要伝統的建造物群保存地区においては、伝統的建造物の修理を行うとともに、建築物等の許可制度により歴史的なまちづくりを行った。また、「嘉右衛門町伝建地区まちづくり計画」に基づき地元関係者で組織した「嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会」とともに歴史的資源を活かしたまちづくり活動を実施した。

栃木町地区については、引き続き伝統的建造物群保存地区指定のための検討を行った。

蔵の街推進係

1 蔵の街を活かしたまちづくり

(1) 蔵の街を活かしたまちづくりワークショップについて

蔵の街に関わる団体等から選出された若者と大学生を構成員として、蔵の街を活かしたまちづくりのためのワークショップを実施した。

実施日	場 所	内 容
8月27日(日)	鹿沼市 ネコヤド地区	視察研修(ネコヤド地区の散策)
10月1日(日)	市役所 501会議室他	ワークショップ1回目(蔵の街の現地調査)
10月15日(日)	市役所 501会議室	ワークショップ2回目(蔵の街を活かしたまちづくり提案の検討)

12月 9日（土）	市役所正庁	「蔵の街を活かしたまちづくりに関する提案発表会」を開催し、ワークショップの成果を発表
-----------	-------	--

(2) 蔵の街を活かしたまちづくり講演会の開催

蔵の街を活かしたまちづくりに関して市民の意識啓発を図るために、講演会を開催した。

- ・実施日 12月 9日（土）
- ・会場 市役所正庁
- ・来場者数 64名
- ・演題 鹿沼市ネコヤド地区に学ぶ
- ・講師 ネコヤド地区仕掛人 風間教司氏

(3) 蔵の街を活かしたまちづくり庁内関係課会議

蔵の街を活かしたまちづくりの推進に関し、蔵の街に関わる事業を実施している関係課との連携及び調整を図るために、関係課による庁内関係課会議を開催した。

- ・庁内関係課会議部会 2回開催（7月20日、2月28日）
- ・庁内関係課会議 2回開催（8月3日、3月13日）

2 喜多川歌麿を活かしたまちづくり

(1) 歌麿を活かしたまちづくり協議会

歌麿を活かしたまちづくり活動を充実させるため、「歌麿を活かしたまちづくり協議会」と市の協働により、歌麿に関する各種イベントや歌麿の業績を広めるための研修会を開催した。

会議名	開催日
役員会	4月27日
理事会	5月30日
総会	6月 8日
歌麿まつり部会	6月27日、7月26日、8月23日、10月10日、12月19日
研修部会	6月27日、8月27日、9月17日、12月 3日、1月28日、3月25日
まちづくり部会	7月21日

(2) 歌麿まつり

浮世絵師喜多川歌麿と栃木の関わりを市内外に広く周知するとともに、文化観光としての街なかの賑わいの創出を目的として、歌麿道中のほか、関連イベントを開催した。

- ・実施期間 10月28日（土）～11月 5日（日）
- ・場所 蔵の街とちぎ（とちぎ蔵の街大通りを中心とした街なか周辺）
- ・参加人数 約 12,000 人
- ・主催 歌麿を活かしたまちづくり協議会
- ・共催 栃木市、栃木市教育委員会

3 歴史まちづくり

(1) 歴史的風致維持向上計画

栃木市固有の歴史的文化や風情、たたずまいを維持し、さらに向上させるため、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(歴史まちづくり法)」に基づく、「栃木市歴史的風致維持向上計画」を平成29年度、30年度の2年間で策定する。

適切かつ有効な歴史的風致維持向上計画を作成するため、主務省(文部科学省、農林水産省、国土交通省)との事前相談を行った。

また、計画策定にあたり必要な事項の検討を行うために、関係課による「栃木市歴史的風致維持向上計画策定検討会議」を開催するとともに、計画策定への助言、指導のために、学識経験者による「栃木市歴史的風致維持向上計画の策定に関する学識経験者会議」を開催した。

- ・主務省との事前相談 4回開催(7月12日、9月22日、12月12日、3月2日)
- ・策定検討会議部会 2回開催(9月21日、1月29日)
- ・策定検討会議 2回開催(9月21日、2月5日)
- ・学識経験者会議 2回開催(11月28日、2月27日)

(2) 歴史まちづくり講演会の開催

歴史まちづくりに関する啓発事業として、講演会を開催した。

- ・実施日 3月11日(日)
- ・会場 栃木公民館
- ・来場者数 59名
- ・演題 第1部:歴史を活かしたまちづくり
第2部:下野国庁と式内社
- ・講師 第1部:元文化庁文化財鑑査官 荻谷勇雅氏
第2部:元(財)埋蔵文化財センター副所長 初山孝行氏

重伝建係

1 伝統的建造物群保存事業に関すること

(1) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区保存事業について

伝統的建造物の修理、建築物の修景に対して補助金を支出し、所有者への支援をした。

ア 伝統的建造物修理補助の実施

5件 33,084,000円

イ 建築物の修景補助の実施

1件 6,000,000円

(2) 伝統的技術継承事業補助金

伝統的な技術を支える職人等の人材育成を図るため補助金を支出し、対象団体の活動を支援した。

- ・事業主体 栃木蔵の街職人塾
- ・補助金額 100,000円

(3) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区における現状変更行為の状況

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区における建築物等の新築、増築、改築等の行為については、許可行為により伝統的建造物群保存地区の歴史的風致の維持に努めた。

- ・現状変更行為許可申請数 7 件
- ・許可件数 7 件
- ・不許可件数 - 件

(4) 栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会

栃木市及び栃木市教育委員会からの諮問に基づき、栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催し、諮問案件の審議結果を答申した。

実施日	場 所	内 容
8月 7日(月)	市役所 501会議室	審議事項 ・平成29年度伝統的建造物修理及び修景予定事業について ・平成30年度伝統的建造物修理事業について 報告事項 ・嘉右衛門町重伝建地区味噌工場跡地保存活用計画の策定について 他2件
2月27日(火)	市役所 501会議室	審議事項 ・嘉右衛門町重伝建地区味噌工場跡地保存活用計画(素案)について ・嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区防災計画(案)について 報告事項 ・平成29年度保存修理事業及び修景事業について 他3件

(5) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区防災計画策定業務

災害に対し脆弱な面が多い伝統的建造物群保存地区について、地区住民の生命及び財産を災害から守ることを基本方針とし、歴史的な景観を活かしたまちづくりを更に推進するため、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区防災計画を策定した。

- ・委託先 (独) 国立高等専門学校機構小山工業高等専門学校
- ・委託料 4,831,920円

(6) 嘉右衛門町でんけん交流会の開催

地区住民の皆様及び伝統的な建物の護り手(職人)と研究機関、行政とが一堂に会し、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区の歴史的町並みの保存や地区内の皆様の安全安心な暮らしの持続を考え、関係者相互のネットワークの構築を図るため、嘉右衛門町でんけん交流会を開催した。

実施日	場 所	内 容
5月31日(水)	神明神社社務所	嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区防災計画策定について

		防災計画策定に係る調査業務の調査結果について
11月18日(土)	伝建地区周辺 栃木第三小学校	魅力と防災を考える町並み探検会
2月4日(日)	神明神社社務所	嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区防災計画(素案)について 嘉右衛門町重伝建地区味噌工場跡地保存活用計画(素案)について
3月26日(月)	神明神社社務所	嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区防災計画について 「でんけんのミカタづくり」プロジェクト報告

(7) 全国伝統的建造物群保存地区協議会

平成25年度から全国伝統的建造物群保存地区協議会へ参加し、全国の伝統的建造物群保存地区を有する自治体との連携を図り、総会や担当者研修会等において共通の課題などの対策を検討した。

実施日	場 所	内 容
5月24日(水) ～26日(金)	茨城県桜川市	・総会 ・担当者研修会 ・伝統的建造物群保存地区視察研修

2 伝統的建造物群保存地区拠点施設整備事業

味噌工場跡地を取得し、文化財の保存及び周辺に残る伝統的建造物と一体となった町並み保存並びに人と文化の交流を目的とした活用により、文化的向上に質するまちづくりの拠点施設として整備を図るため、下記事業を実施した。

(1) 嘉右衛門町重伝建地区味噌工場跡地保存活用計画策定業務

新たに取得した伝建地区内の味噌工場跡地について、伝統的建造物の保存に努めるとともに、人と文化の交流を目的とし、観光・まちづくり・防災の拠点施設として整備を図るため、保存活用計画を策定した。

- ・委託先 A I S 総合設計㈱
- ・委託料 16,383,600 円

(2) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区拠点施設用地内建物修理設計業務

拠点施設用地内の例幣使街道沿いに現存する劣化した伝統的建造物を保存するために、修理設計を行った。

- ・委託先 A I S 総合設計㈱
- ・委託料 7,884,000 円

(3) 拠点施設調査・耐震簡易診断業務

拠点施設の伝統的建造物の起源や変遷過程を解き、価値を明確にするため痕跡調査や復元図等を作成し、破損状況を把握した上で耐震簡易診断を行い、総合的に耐震性能を評価し補強方針を定めた。

- ・委託先 特定非営利活動法人 木の建築フォーラム
- ・委託料 17,647,160 円

3 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区を活かしたまちづくり

(1) 嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会について

嘉右衛門町伝建地区まちづくり計画の推進を図るために、嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会との協働により、具体的な取組を実現させるための検討を行うとともに、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区の住民・事業者に働きかけ、まちづくり活動を実施した。

会議名	開催日
総会	5月 9日
役員会	4月25日、 6月14日、 9月13日、11月24日

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区のまちづくりの実施内容

- ・花いっぱい運動（通年開催）
- ・クリーン作戦の実施 12回（月1回：原則、毎月第一日曜日）
- ・歴史勉強会の開催 1回（2月 9日）
- ・活動内容の周知 まちづくり通信の発行 2回（6月15日、1月 5日）

4 地域おこし協力隊活動事業

人口減少や高齢化が進む本市において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住及び定着を図り、もって地域力の維持及び強化に資するため、地域おこし協力隊員を委嘱し、民間との協働により、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区の賑わい創出に向けた活動を行った。

(1) 嘉右衛門町夕涼みライトアップ

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区内の、特に日光例幣使街道沿いに、栃木市の伝統工芸「新波の提灯」と佐野市の伝統工芸「天明鋳物」の風鈴を各戸設置することにより、面的に光と音で涼しさを演出するイベントを行った。

- ・場所：嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区内の日光例幣使街道沿い
- ・日程： 7月21日（金）17時～20時（17時～点灯式）
7月22日（土）17時～20時（浴衣無料撮影会17時～18時）
7月23日（日）17時～20時

(2) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区「そば三昧&親子でそば打ち体験」

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区内の、泉町・嘉右衛門町・大町のそれぞれの拠点で、テイストを変えたお蕎麦を無料で提供することにより、伝統的建造物群保存地区内に賑わいをもたらすイベント（そば三昧）を行った。また、とちぎあそ雛まつりとタイアップし、子どもが楽しめるイベント（親子でそば打ち体験、紙芝居会）を行った。

- ・場所：石川せともの店、神明神社社務所、sumire-すみれ-
- ・日程： 2月25日（日）10時～14時